

製品名: pHyde ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16089**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	STEAP3
別名	STEAP3; TSAP6; Metalloreductase STEAP3; Dudulin-2; Six-transmembrane epithelial antigen of prostate 3; Tumor suppressor-activated pathway protein 6; hTSAP6; pHyde; hpHyde
遺伝子 ID	55240.0
SwissProt ID	Q658P3
免疫原	抗血清はヒト STEA3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 421-470

背景

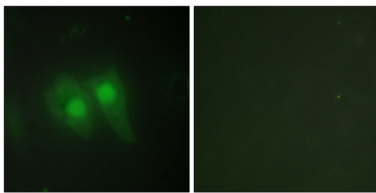
STEAP3 メタロレダクターゼ (STEAP3) ホモサピエンス この遺伝子は、鉄輸送体として機能する複数回膜貫通型タンパク質をコード

しています。コードされているタンパク質は、鉄 (Fe³⁺) と銅 (Cu²⁺) の両方の陽イオンを還元することができます。このタンパク質は、アポトーシスの促進など、p53 に対する下流の応答を媒介する可能性があります。この遺伝子の欠損は貧血を引き起こす可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2015 年 8 月]、注意: 当初は前立腺癌において腫瘍抑制機能を持つと考えられていましたが、おそらくそうではないことが示されました (PubMed: 12866033) 。、補因子: FAD。、機能: 赤血球細胞におけるトランスフェリン依存性鉄の効率的な取り込みに必要なエンドソーム性鉄還元酵素。Fe (3+) を Fe (2+) に還元することで、赤血球の鉄恒常性維持に関与しています。Cu(2+)をCu(1+)に還元することもでき、銅の恒常性維持に関与していることを示唆しています。NAD(+)を受容体として利用します (類似性による) 。p53/TP53 の下流で、アポトーシスと細胞周期の進行を仲介する役割を果たしている可能性があります。TCTP などのタンパク質の分泌を促進することで、間接的にエクソソーム分泌に関与しています。、誘導: p53/TP53 による。、類似性: STEAP ファミリーに属する。、類似性: 1 つの鉄酸化還元酵素ドメインを含む。、細胞内局在: 細胞膜および核周囲の小胞状構造に局在する。、サブユニット: BNIP3L、MYT1、および TCTP と相互作用する。、組織特異性: 成人の骨髄、胎盤、肝臓、骨格筋、脾臓で発現する。肝細胞癌では発現が低下する。、

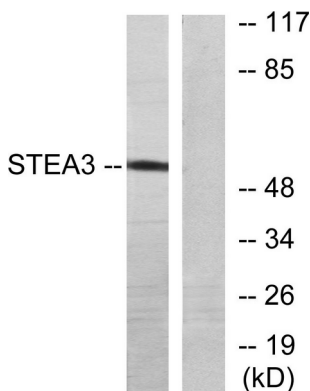
研究分野

p53;

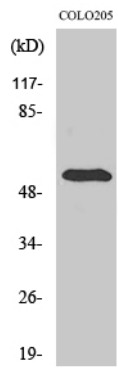
画像データ



STEA3 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



STEA3 抗体を用いた COLO205 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



pHyde ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析